

## 高位平準動物看護概論 感染症学 対面学習確認テスト

問題1: 細菌の増殖について正しいのはどれか。

- ① 酸素が必要である。
- ② 細胞が必要である。
- ③ 産生環境が必要である。
- ④ 二分裂で増殖する。
- ⑤ 37°Cでないと増殖しない。

問題2: 細菌の性状について正しいのはどれか。

- ① 光学顕微鏡で観察できない。
- ② グラム陽性菌とグラム陰性菌がある。
- ③ ほとんどのグラム陽性菌は球菌である。
- ④ すべての細菌は鞭毛をもつ。
- ⑤ すべての細菌は芽胞をもつ。

問題3: 膿皮症について正しいのはどれか。

- ① ブドウ球菌などの常在細菌による日和見感染が多い。
- ② 猫には発症しない。
- ③ 犬の皮膚病の中では発生頻度は低い。
- ④ 抗菌薬は無効である。
- ⑤ 全身脱毛の原因である。

問題4: 皮膚糸状菌症について正しいのはどれか。

- ① 疥癬とも呼ばれる。
- ② 病原体は酵母である。
- ③ 深在性真菌症の一つである。
- ④ ウッド灯による検査が用いられる。
- ⑤ 脱毛はほとんど見られない。

問題5: ウイルスの増殖について正しいのはどれか。

- ① 人工寒天培地で増殖する。
- ② 一部のウイルスは発育鶏卵で増殖する。
- ③ 二分裂で増殖する。
- ④ すべてのウイルスは細菌の核内で複製する。
- ⑤ ウイルスが感染した細胞は一見正常である。

問題6: 犬パルボウイルス感染症について正しいのはどれか。

- ① 糞便中に大量のウイルスが排出される。
- ② ウイルス血症は見られない。
- ③ 予防ワクチンはない。
- ④ ウイルスは消毒用アルコールで容易に不活化される。
- ⑤ 幼犬は感受性が低いので死亡することはない。

問題7: 猫ウイルス性鼻気管炎について正しいのはどれか。

- ① 猫カリシウイルスが病原体である。
- ② 猫伝染性呼吸器症候群(猫かぜ)には含まれない。
- ③ 潰瘍性口内炎が高頻度に見られる。
- ④ 猫ジステンパーとも呼ばれる。
- ⑤ 予防ワクチンがある。

問題8: 犬や猫の外部寄生虫について正しいのはどれか。

- ① ヒゼンタニ症は毛包虫症とも呼ばれる。
- ② 疥癬は動物から人への感染はしない。
- ③ ミミヒゼンダニは耳の中にのみ寄生する。
- ④ マダニ症は家ダニが動物に感染したものである。
- ⑤ イヌノミとネコノミは同じである。

問題9: 犬糸状虫症(フィラリア症)について正しいのはどれか。

- ① 条虫の一つに分類される。
- ② 成虫は主に左心室に蓄積される。
- ③ 予防薬はない。
- ④ 心臓のX線検査では異常が見られない。
- ⑤ 蚊の吸血によりミクロフィラリアが犬に感染する。

問題10: ノミがいる犬の対処方法で間違っているのはどれか。

- ① 他の犬と接触を避ける。
- ② ノミはすぐにつぶして殺してしまう。
- ③ その犬のノミの駆除とともに同居動物がいるかどうか確認し、その動物にも対処するよう伝える。
- ④ できればその診察室をしばらく使わないようにする。
- ⑤ 抜け毛は下に落とさないように注意する。

## 高位平準動物看護概論 感染症学 対面学習確認テスト正答

問題1: 細菌の増殖について正しいのはどれか。

- ① 酸素が必要である。
- ② 細胞が必要である。
- ③ 産生環境が必要である。
- ④ **二分裂で増殖する。**
- ⑤ 37℃でないと増殖しない。

問題2: 細菌の性状について正しいのはどれか。

- ① 光学顕微鏡で観察できない。
- ② **グラム陽性菌とグラム陰性菌がある。**
- ③ ほとんどのグラム陽性菌は球菌である。
- ④ すべての細菌は鞭毛をもつ。
- ⑤ すべての細菌は芽胞をもつ。

問題3: 膿皮症について正しいのはどれか。

- ① **ブドウ球菌などの常在細菌による日和見感染が多い。**
- ② 猫には発症しない。
- ③ 犬の皮膚病の中では発生頻度は低い。
- ④ 抗菌薬は無効である。
- ⑤ 全身脱毛の原因である。

問題4: 皮膚糸状菌症について正しいのはどれか。

- ① 疥癬とも呼ばれる。
- ② 病原体は酵母である。
- ③ 深在性真菌症の一つである。
- ④ **ウツド灯による検査が用いられる。**
- ⑤ 脱毛はほとんど見られない。

問題5: ウイルスの増殖について正しいのはどれか。

- ① 人工寒天培地で増殖する。
- ② **一部のウイルスは発育鶏卵で増殖する。**
- ③ 二分裂で増殖する。
- ④ すべてのウイルスは細菌の核内で複製する。
- ⑤ ウイルスが感染した細胞は一見性状である。

問題6: 犬パルボウイルス感染症について正しいのはどれか。

- ① **糞便中に大量のウイルスが排出される。**
- ② ウイルス血症は見られない。
- ③ 予防ワクチンはない。
- ④ ウイルスは消毒用アルコールで容易に不活化される。
- ⑤ 幼犬は感受性が低いので死亡することはない。

問題7: 猫ウイルス性鼻気管炎について正しいのはどれか。

- ① 猫カリシウイルスが病原体である。
- ② 猫伝染性呼吸器症候群(猫かぜ)には含まれない。
- ③ 潰瘍性口内炎が高頻度に見られる。
- ④ 猫ジステンパーとも呼ばれる。
- ⑤ **予防ワクチンがある。**

問題8: 犬や猫の外部寄生虫について正しいのはどれか。

- ① ヒゼンタニ症は毛包虫症とも呼ばれる。
- ② 疥癬は動物から人への感染はしない。
- ③ **ミミヒゼンダニは耳の中にのみ寄生する。**
- ④ マダニ症は家ダニが動物に感染したものである。
- ⑤ イヌノミとネコノミは同じである。

問題9: 犬糸状虫症(フィラリア症)について正しいのはどれか。

- ① 条虫の一つに分類される。
- ② 成虫は主に左心室に蓄積される。
- ③ 予防薬はない。
- ④ 心臓のX線検査では異常が見られない。
- ⑤ **蚊の吸血によりマイクロフィラリアが犬に感染する。**

問題10: ノミがいる犬の対処方法で間違っているのはどれか。

- ① 他の犬と接触を避ける。
- ② **ノミはすぐにつぶして殺してしまう。**
- ③ その犬のノミの駆除とともに同居動物がいるかどうか確認し、その動物にも対処するよう伝える。
- ④ できればその診察室をいばらく使わないようにする。
- ⑤ 抜け毛は下に落とさないように注意する。